

吹田民主商工会 いんぷお めくしよん

吹田市川園町20-1
TEL (06) 6383-2211
FAX (06) 6382-8190
<http://www.suita-minshou.com>
suita-ms@jamine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

倉敷民商弾圧事件 裁判支援活動

11月8日に日本国民救済会大阪府本部吹田支部5名と吹田民主商工会3名で倉敷民商弾圧事件禰屋裁判を支援する活動として吹田市内の19団体を訪問しました。訪問先では広島高裁岡山支部で差戻し判決が出た後に1年近くも立証計画を出すことなく裁判を停滞させ禰屋さんの不当逮捕から5年が経過したことを話し、地裁に対して無罪判決、地検に公訴取下げを求める署名への協力をお願いしました。13日にはJR吹田



駅北口で合同の宣伝行動を9名で行いました。地裁差戻しになった禰屋さんの事件について知らせるビラを配り、この事件が冤罪・弾圧であることを訴えました。国民救済会と民商の両方で役員をしている高宮さんは東住吉事件湖東病院事件などの冤罪事件も紹介しながら、この倉敷民商弾圧事件への支援をハンドマイクで訴えました。

禰屋さんは無罪 秋の全国決起集会

岡崎 栄一郎

11月13日(水)岡山国際交流センターで開かれた「倉敷民商弾圧事件 禰屋さんは無罪! 2019年秋の全国集会」には全国から315名、大阪から28名が集い、会場内は「禰屋さんの無罪を勝ち取るまで闘うぞ」という気迫で満ち溢れていました。昨年1月12日広島高裁岡山支部が「一審判決を破棄、岡山地裁に差し戻す」判決を言い渡してから1年10か月たちます。どうなっていくのだろうかという不安を抱えていたこともあって、今回の決起集会に参加しました。集会では鶴見勇作弁護士の記念公演「禰屋事件の現状と今後のたたかいの方向」、弁護士から則武透 弁護士・千田卓司 弁護士が禰屋裁判の現状と課題について報告されました。「検察は禰屋さんを脱税ほう助の罪で起訴しているが、検察官は具体的な行為を明らかにしていない。判決差し戻し後、検察は禰屋さんの有罪の立証計画は4度も変更している。禰屋さんは脱税をして国家に不利益をかけてもかまわない、不当に利益を搾取しようという目的があったわけではない。民商の事務局員として会員さんをサポートしたいということが重要だ」という報告を聞き、権力が元々民商をつぶそうという魂胆があったとしか思えないと怒りがこみあげてきました。公判がいつ開かれるかわかりません。今後の展開にはまだまだ時間がかかるそうです。宣伝や署名行動などで世論に大きく訴える活動を今起こさなければと決意を新たに帰路につきました。

消費税は天下の悪税! 廃止しかない!

11月16日(土)に消費税をなくす大阪の会の第30回総会が開かれました。総会では消費税導入や増税で庶民の生活を圧迫している状況や経団連や経済同友会などが17%から19%へ更なる増税を求めていることなどを示し、「黙っていたら更なる大増税」になることを訴え、今こそ「5%に戻せ」「消費税廃止」の声を大きくし、「10%を撤回し、減税を求める請願」署名を広げつくそうと確認しました。代表発言では、「宣伝をしても知らん顔をして通りすぎる人もいるけど、こういう人も心の中では消費税は嫌と思っているに違いないと思うようにしている。こういう人達にも減税の声がキチンと届くように運動を強めていきたい」と運動への強い思いが語られました。また清家税理士から、いまアメリカでは富裕層自らがもつと我々が税金を払いたいと声が上がっていることや欧米でも高所得者への増税が議論され始めていること、タックスヘイブんで税逃れを許さないため世界的に協力して課税を強めようとする動きもあるなか、日本だけが庶民増税をしており、こんなことをいつまでも許してはいけなさと話されました。総会後は日本共産党参議院議員 大門実紀史さんから「消費税は廃止をめざし、緊急に5%への減税を」をテーマに記念講演が行われました。いまの国会情勢と市民と野党の共同、「れいわ」との連携など話され、消費税増税とアベノミクスで格差が拡大し消費は冷え込んでいるが、いま上げるべきは消費税でなく賃金であるとしたうえで、消費税の導入・増税はすべて財界・大企業の実業の要求で福祉の財源にするといのは言い訳でしかなく、消費税に頼らなくても財源はあると訴えられました。

秋のハーブ園と神戸の街を散策

11月17日に共済会レクレーションで神戸布引ハーブ園に出かけてきました。16名が参加しました。神戸の街の散策のため、ハーブ園や異人館の施設割引券も兼ねる神戸ループバスの1日乗車券を全員で購入しました。参加者は三宮で集合しバスとロープウェイでハーブ園へ、天気もよく山頂までの車中から神戸空港まで見渡せる景色のよさをみんなで楽しみました。やまの空気と少し紅葉で色付き始めた木々の中でハーブの香りの館や植物園、園路でも育てられている様々なハーブの姿や香りをたのしみながら散策。山の上のカフェやロッジでビールやワインを楽しむ参加者も。1時間半ほどハーブ園を楽しんでから、神戸の街を異人館通りや三宮、南京町に分かれて散策しました。



お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民とともい!